〈CBR1000RR ABS〉

コンバインドABS警告灯

コンバインドABS警告灯は、メインスイッチを“ON”にすると点灯し、走行（車速約10 km/h以上）すると消えるのが正常です。

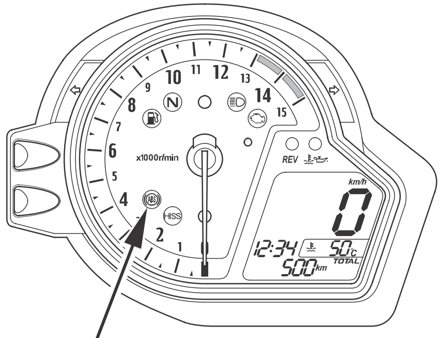
警告灯が次のような状態になったときは、システムの異常が考えられますので、すみやかにHonda販売店にご相談ください。

- 運転中に点灯または点滅したとき
- メインスイッチを“ON”にしても点灯しないとき
- 10km/h以上で走行しても消灯しないとき

なお、この場合でも通常のブレーキとしての性能は確保されています。前輪ブレーキレバーを握ったときは前輪にのみ、後輪ブレーキペダルを踏んだときは後輪にのみブレーキがかかります。（コンバインドABSとしての作動はしません）

知　識

- 以下の条件のとき、コンバインドABS警告灯が点滅する場合があります。
  この場合一度メインスイッチを“OFF”にし、再度メインスイッチを“ON”にすると警告灯が点灯し、10 km/h以上の速度で走行したあとに消灯すれば正常です。
  - 走行中に1秒以上前輪が路面から離れたとき
  - 停車状態からブレーキレバー／ペダルを操作しつづけたまま加速したとき
  - メンテナンススタンドなどを使用して後輪を空転させたとき



コンバインドABS警告灯